

**平成２９年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

平成２９年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語と数学の２教科の実施となりました。

国語と数学の２教科で、主に知識に関する「Ａ問題」と、主に知識を活用する力に関する「Ｂ問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語Ａ	７７．４％					○
国語Ｂ	７２．２％					○
数学Ａ	６４．６％					○
数学Ｂ	４８．１％					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.4%					○
書くこと	85.7%					○
読むこと	73.8%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2%					○

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話すための材料を交流を通して集めたり、スピーチの構成を工夫したりする問題で特に理解が高いです。今後も発表の場や意見交流の場を定期的に設けることで、話し方の工夫や表現の工夫などに自ら気づかせ、実行する力を身につけていきます。
- 「書くこと」では、文章を推敲し、読み手により伝えるための構成の工夫や語句の使い方についての問題に落ち込みが見られます。総合的な学習の時間や学級活動の時間と連動してより伝える相手を意識させ、目的や場面に応じた言葉遣いや表現の工夫をするための学習の場を計画的に設けていきます。
- 「読むこと」では、登場人物の描写をとらえ、内容を理解する力がついています。根拠をもとに自分の考えを述べるという授業を今後も行っていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、接続語や助詞の理解に課題があります。文と文とのつながりなどに注目させて文章を読ませていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
書くこと	60.8%					○
読むこと	72.1%					○

【考 察】

- 表現を工夫して自分の考えを書いたり、書く材料を整理して相手にわかりやすく伝えるように文章を構成して書いたりすることが良くできています。さらに優れた文章を読み、すばらしい表現に触れさせることで表現力を高めていきます。
- 書く内容に応じて「何を」、「誰から」、「どのように」収集するかを検討する力が身についています。また、なぜそれを収集すべきかの理由を根拠をもとに書くことができています。今後も自分の意見を述べる際に、説得力を持たせるために根拠をもとにするよう指導していきます。
- より効果的な発表の仕方についての理解がまだ不足しています。実演したり、実物を見せたりする視覚効果があることについて、実践を通して学習させていきます。また、プレゼンテーションやディベート、発表資料を作る授業を今後も取り入れ、発表する力をさらに伸ばしていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	70.4%					○
図 形	66.0%					○
関 数	57.4%					○
資料の活用	57.6%					○

【考 察】

- 「数と式」では、計算についての技能が高く、計算の仕方は習得していますが、数量の関係を式に表すことに落ち込みが見られます。数量関係を表す文字の扱い方を確認する授業を行っていきます。
- 「図形」では、扇形の弧の長さ、円柱の体積の求め方が定着していません。図形の周の長さや面積、体積の求め方を図を用いて視覚化することで、定着させていきます。
- 「関数」では、反比例の理解について落ち込みが見られます。対応表から数量の関係を読み取ったり、グラフとの関係を確認したりしながら授業を展開していきます。
- 「資料の活用」では、表を用いて分析し、数学的用語を用いて説明する力が不足しています。資料に合わせて自分の考えをまとめ、説明する活動を取り入れて表現する力を身につけさせていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	46.3%					○
図 形	47.1%					○
関 数	50.8%					○
資料の活用	49.1%					○

【考 察】

- 「数と式」では、説明文から数量の関係を読み取り、文字を用いて表現する力が不足しています。説明文から数量の関係を表現できる力を身につけていきます。
- 「関数」では、座標の読み取りはできますが、グラフが表していることを資料から読み取り、数学的用語を用いて的確に表現する力が不足しています。情報を適切に選択し、根拠を明確にしながら、数学的に説明する活動を多く取り入れていきます。
- 「図形」では、図形を重ね合わせるためにどのように移動させればよいのか、筋道を立てて説明する学習を継続していきます。
- 「資料の活用」では、資料を表やグラフに表すことができると共に、値の変化について分析し、その変化や様子を数学的用語を用いて表現できる力を身につけるようにしていきます。